

2025 年に向けた活動方針と選手選考について

2024. 10. 18 公開

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

強化委員会

ジュニア小委員会

1. ヴィジョン

欧州中堅国と同等の競技力保有を世界に認知させ、オリエンテーリングの世界的な競技スポーツとしての地位確立に貢献するため、存在感を競技力で示す。

2025 年はフォレスト WOC の開催となるが、2026 年のスプリント WOC の準備も並行して強化を進めていく。2025 年に開催される国際大会（WCup、JWOC、AsJYOC）やトレーニングキャンプなどに代表選手を積極的に派遣し、ジュニア・ユース世代の育成を含めた全体の競技力向上に努める。

選手強化の体制については、強化委員会の委員に加え、強化方針に基づいて中長期的に強化を推進する強化スタッフを置く。また、個人コーチ・アドバイザー、所属クラブや大学のコーチ・オフィシャル等の協力、さらには地域クラブの協力を得ながら強化活動を進める。

JOA は日本オリンピック委員会（JOC）の承認団体となっている。日本代表選手としてのインテグリティ（誠実、真摯、高潔）やアンチドーピングなどの教育を充実させるとともに、アントラージュ（競技活動を支える環境）活動にも注力していく。

2. 大会の位置付けと目標

2.1 WOC

大会の位置づけ：日本代表選手が目標とすべき最高峰の大会。

2.1.1 2030 年までの長期目標

○Division 目標

男子：Division2 への昇格

女子：Division2 を堅持（21 位と 22 位は自動降格なので、20 位以内が必要）

○個人種目：25 位

男女とも 2 人以上の予選通過

○団体種目：15 位

※WOC は過去の成績を基に出場可能な選手の上限数が国ごとに3つのDivisionに分けて決められている。Division1(8ヶ国)、Division2(14ヶ国)、Division3(その他の国)。現在、日本の男子はDivision3、女子はWOC2023の成績によりDivision2への昇格を果たした。男子がDivision2への昇格を目指すためには、23位と24位がDivision2に昇格できるので、24位が目標となる。

2.1.2 2025年WOC (フォレスト、2025年7月7日～12日、フィンランド)

2026年WOC (スプリント、2026年7月6日～11日、イタリア)における目標

○フォレスト個人種目：

40位 (稲毛 40位@WOC2021 ミドル、稲毛 41位@WOC2023 ロング、伊藤樹 44位@WOC2023 ミドル、伊藤樹 44位@WOC2023 ロング)

ミドル男女とも1人以上の予選通過

○フォレストリレー種目：

男子：22位 (Division2を意識、27位@WOC2023) アジア、北米、南米、アフリカ地域の中でトップ

女子：22位 (Division2を意識、20位@WOC2023) アジア、北米、南米、アフリカ地域の中でトップ

○スプリント個人種目：

35位 (伊部 38位@WOC2022、近藤 KS 25位(←QF5位)@WOC2024)

S、KSそれぞれ男女とも1人以上の予選通過

○スプリントリレー種目：

20位 (19位相当@WOC2022、22位@WOC2024)

アジア、北米、南米、アフリカ地域の中でトップ

2.2 TWG (2025年8月7日～12日、中国)

大会の位置づけ：ワールドゲームズはオリンピックの補完的な意味をもって夏季オリンピックの翌年に開催され、2025年は四川省成都市で35競技の開催が予定されている。

オリエンテーリング種目は2001年の秋田大会から開催されているが、参加国数が限られているため、日本は秋田大会(2001年)と台湾大会(2009年)しか出場資格を得ていない。日本の出場可否はAsOC2024の結果次第であり、2025年1月末頃に判明する。WCup同様、世界レベルのレースを経験できる大会であり、WOCを目指すアドバンスト選手を派遣する。なお、TWG2025では、スプリント、スプリントリレー、ミドルが実施されるが、男女それぞれMAX2人しか出場できない。

2.3 WCup (6月スウェーデン(F)、8月ベルギー(S)、9月スイス(S)) F:Forest, S:Sprint

大会の位置づけ：世界レベルのレースを経験できる重要な機会であり、WOCを目指すアドバンスト選手を積極的に派遣する。WOCにおける有利なスタート順を確保するためにWRPを稼ぐ場でもある。

2.4 JWOC (2025年6月28日～7月4日、イタリア)

大会の位置づけ：経験と育成、強化のバランスを取る必要がある大会。そのために、世界レベルの大会の経験を重視、スプリント重視、フィジカル重視、多くの視点を持って選手選考すべき大会。

選手の今後の成長を見据え、中長期的な視野で目標を定める。具体的な目標はジュニア小委員会がコーチと協議して各年度の遠征チームに対して定める。

2.5 AsJYOC (2025年8月26日～31日、愛知)

大会の位置づけ：優勝を目指すべき大会であり、アジアにおける日本のプレゼンスを示す大会。また同時に、国際大会の経験や厳しさを知る大会。具体的な目標はジュニア小委員会がコーチと協議して各年度の遠征チームに対して定める。

○M/W20、M/W18、M/W16 各年代のトップ選手を派遣する。すべての種目で優勝およびメダル獲得を目標とする。

○M/W14 は IOF の競技規則に掲載されていないため、主催者に位置付けを確認中（2024年10月17日時点）であり、位置付け明確後に掲載予定。

3. 強化活動

3.1 アドバンスト選手登録

強化委員会は、JOA の競技者登録をした選手の中から、競技力向上の意志を持ち、A クラスのコースを自力で完走できる技術、体力のある選手を対象に強化活動を行っていく。希望する選手はアドバンスト選手（ADV 選手）登録を行うことで強化合宿に参加できる。アドバンスト選手は、年齢により2種類（シニア、ジュニア）の登録種類がある（表1参照）。

日本代表選手に選考されるためには、JOA 競技者登録をしていること、さらに ADV 選手登録を行っていることを条件とする。言い換えると、日本代表選手を目指すための第1ステップとして JOA の競技者登録、第2ステップとして ADV 選手登録となる。

現在の、日本のオリエンテーリング代表となるための概念図を以下に示す。

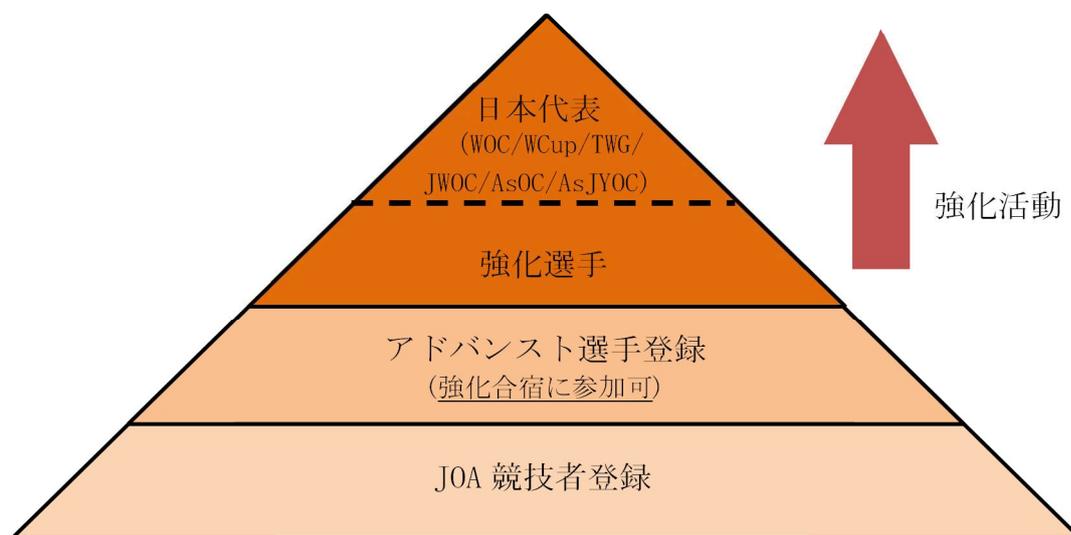


図1 日本代表、強化選手とアドバンスト選手登録の概念図

表1 アドバンスト選手登録の種類と概要。

	年齢対象	合宿・練習会参加		選考エントリー		登録費
		スプリント	フォレスト	WOC/TWG/WCup/ AsOC	JWOC/ AsJYOC	
1) シニア	21歳以上	○	○	○	×	5,000
2) ジュニア・ユース	20歳以下	○	○	○	○	2,000

※ジュニア・ユース：2005年1月1日以降生まれ。

3.2 強化選手

ADV登録された選手の中から、実績やポテンシャルをもとにして、WOCを目指す選手としてフォレスト強化選手、スプリント強化選手を指定する。スプリント強化選手は走力を特に重視し、満たすべき走力基準を設ける。また、ADV登録された選手の中から、JWOC/AsJYOC（U16、U18、U20）を目指す選手としてU-20およびU-18強化選手を指定する。

- 1 フォレスト強化選手（男女各5名程度）
- 2 スプリント強化選手（男女各5名程度）
- 3 U-20およびU-18強化選手（男女各数名程度）

総合的にナビゲーションおよびフィジカルを強化することで、優れた選手を育成することを目的とする。

※強化選手には、強化委員会主催イベントにおけるトレーニング経費の一部を免除する。

3.3 強化選手の指定

詳細は、「強化選手指定要領」を参照のこと。

4. 日本代表の選考

4.1 WOC2025 代表選考

2024年12月のアジア選手権（ミドル）を獲得した選手が出た場合、その選手はアジア個人枠での出場が可能となるため、以下の選考プロセスからは除外して扱う。

○ 選考人数：

男子 3～4名（枠数 ロング1名、ミドル3名）

女子 3～5名（枠数 ロング2名、ミドル3名）

○ 選考対象：2025年JOA競技者登録者かつADV(スプリント)選手。

○ 選考方法：

a) 2024年全日本ロング優勝選手権者（男女各最大1名）

対象者が辞退した場合や、アジア個人枠を獲得した場合でも、2位以下の繰り上げは行わない。

b) 選考会による選考

選考会（2025年4月13日 富士山麓大会）

a)とb)を合わせて2名となるよう上位から選考する。

辞退の場合、次点者の繰り上げは行わない。

c) 実績等による推薦

選考会の成績、海外における実績（2025年3月末時点でのフォレストWRポイント、2023年～2024年のWOC、WCup等のフォレスト競技成績）、日本ランキング、国内主要大会（全日本ロング、全日本ミドル、インカレロング、インカレミドル）、それ以外にもトレーニングキャンプへの遠征など、WOC2025にむけた積極的な取り組みも考慮の上、推薦選手を決定し、a)～c)合わせて男子最大3名、女子最大4名を選考する。

d) 追加選考の余地

a)～c)で選考された代表選手の出場種目の調整後、男子最大4名、女子最大5名までを推薦により追加で選考することがある。

4.2 TWG 代表選考

TWG2025の種目はスプリント、スプリントリレー、ミドルで、2019年10月に中国で開催されたWCupと同じ種目である。その時のテレインから類推するとミドルも小道の多いテレインが予想されることから、スプリントの実績により選考する。全日本スプリント（2025年2月9日）の成績および日本ランキング（スプリント）を重視して選考する。

4.3 WCup 代表選考

強化選手を優先して選考する。希望者が多い場合はフォレスト WR ポイントおよび日本ランキングを参考に選考する。

なお、出場可能なレベルとして、日本ランキングにおいて全日本大会 E クラス出場資格取得相当の実力を必要とする。

4.4 JWOC2025 代表選考

代表選手希望申請：日本代表として選考を希望するものは、代表選考希望申請を行うこと。申請時期は 2025 年 2 月頃を予定している。

○ 選考人数：男子、女子とも最大 6 名

○ 選考対象：2025 年 JOA 競技者登録者かつ ADV 選手かつ走力基準タイム(次頁に記載。1500m, 3000m, 5000m, 10000m のいずれか)を満たすもの。

○ 選考方法：

選考会（2025 年 4 月 13 日 富士山麓大会）の成績、参考レースの成績、および、走力記録の合計ポイントに基づいて選考する。選考会では上位

2 名を選考し、以降は合計ポイントに基づいて選考する。

※U-20 または U-18 強化選手かつ参考レースで特に優れた成績を収めているものは、選考会を待たずに代表に内定することがある。

※ポイントが同じ場合、選考レースの差が小さい場合は年齢の若い選手を優先的に選考する。

※男女各若干名の補欠選手を選考する場合がある。

○ 選考会とポイント：

‘25/4/13： 富士山麓大会 2025(静岡県)

M20E/W20E (クラス名は暫定) 優勝・準優勝：代表内定 3 位：2 ポイント 4~6 位：1 ポイント

○ 参考レースとポイント：(今後追加される可能性あり)

‘24/8/24： FRENSON JUNIOR CUP 個人競技(長野県)

ME/WE 優勝：2 ポイント ME/WE 準優勝：1 ポイント

JME/JWE 優勝：1 ポイント

’24/10/19： 全日本大会ミドルディスタンス競技部門(岐阜県)

M20E/W20E 優勝：5 ポイント 準優勝：3 ポイント 3 位：2 ポイント 4~6 位：1 ポイント

M20A/W20A、M18A/W18A 優勝：1 ポイント

'24/10/20： 全日本大会ロングディスタンス競技部門(岐阜県)

M20E/W20E 優勝：5ポイント 準優勝：3ポイント 3位：2ポイント 4～6位：1ポイント
M20A/W20A、M18A/W18A 優勝：1ポイント

'24/11/16： インカレスプリント(福井県)

ME/WE 優勝：5ポイント 準優勝：3ポイント 3位：2ポイント 4～6位：1ポイント
上記該当者がいない場合、ME/WEの最上位者に1ポイント

'24/11/17： インカレロング(福井県)

ME/WE 優勝：5ポイント 準優勝：3ポイント 3位：2ポイント 4～6位：1ポイント
上記該当者がいない場合、ME/WEの最上位者に1ポイント

'24/12/22： アジアジュニア・ユース選手権大会スプリント(タイ・チェンマイ)

M20/W20 優勝：3ポイント 準優勝：2ポイント 4～6位：1ポイント
M18/W18 優勝：2ポイント 準優勝：1ポイント
M16/W16 優勝：1ポイント

'24/12/23： アジアジュニア・ユース選手権大会ミドル(タイ・チェンマイ)

M20/W20 優勝：3ポイント 準優勝：2ポイント 4～6位：1ポイント
M18/W18 優勝：2ポイント 準優勝：1ポイント
M16/W16 優勝：1ポイント

'25/2/9： 全日本スプリント競技部門(東京都)

ME/WEでU-20最上位：3ポイント 2番手：2ポイント 3～5番手：1ポイント
M20A/W20A、M18A/W18A、M15A/W15A 優勝：1ポイント

'25/3/8： インカレミドル(栃木県)

ME/WE 優勝：5ポイント 準優勝：3ポイント 3位：2ポイント 4～6位：1ポイント
上記該当者がいない場合、ME/WEの最上位者に1ポイント

○ 走力基準とポイント：

		男子				女子			
		基準タイム	1ポイント	2ポイント	3ポイント	基準タイム	1ポイント	2ポイント	3ポイント
U20 (19-20歳)	3000m	0:11:00	0:10:30	0:10:00	0:09:30	0:12:30	0:12:00	0:11:30	0:11:00
	5000m	0:19:10	0:18:20	0:17:30	0:16:40	0:21:40	0:20:50	0:20:00	0:19:10
	10000m	0:40:00	0:38:20	0:36:40	0:35:00	0:45:00	0:43:20	0:41:40	0:40:00
U18 (17-18歳)	1500m	0:05:30	0:05:15	0:05:00	0:04:45	0:06:15	0:06:00	0:05:45	0:05:30
	3000m	0:11:30	0:11:00	0:10:30	0:10:00	0:13:00	0:12:30	0:12:00	0:11:30
	5000m	0:20:00	0:19:10	0:18:20	0:17:30	0:22:30	0:21:40	0:20:50	0:20:00
U16 (-16歳)	1500m	0:05:45	0:05:30	0:05:15	0:05:00	0:06:30	0:06:15	0:06:00	0:05:45
	3000m	0:12:00	0:11:30	0:11:00	0:10:30	0:13:30	0:13:00	0:12:30	0:12:00
	5000m	0:20:50	0:20:00	0:19:10	0:18:20	0:23:20	0:22:30	0:21:40	0:20:50

※2024年4月1日以降の記録が有効
 ※正式な記録会のものでなくて良いが保護者・家族以外の立会人をおくこと

4.5 AsJYOC 代表選考

代表選手希望申請：日本代表として選考を希望するものは、代表選考希望申請を行うこと。申請時期は2025年2月頃を予定しているが、アジアジュニア・ユース選手権大会や全日本スプリント選手権大会など選考対象レースに含まれることを留意しておくこと。

- ・複数のクラスに出場できる場合でも、出場を希望するクラスをひとつ選び申請すること。
- ・申請の際、走力記録が必要となることに留意すること。

○選考人数：男子女子とも各出場クラス最大6名

○選考資格

- ・各出場クラスにおける生年月日

W/M14 2011年1月1日以降の生まれであること

W/M16 2009年1月1日以降の生まれであること

W/M18 2007年1月1日以降の生まれであること

W/M20 2005年1月1日以降の生まれであること

- ・2025年度 J0A 競技者登録者およびアドバンス選手登録者
- ・下記、走力基準を満たすもの。原則として基準タイムを満たさない選手は選考対象としない。
 (但し W/M14 は走力基準に該当しない)

		男子	女子
U20 (19-20歳)	3000m	0:11:00	0:12:30
	5000m	0:19:10	0:21:40
	10000m	0:40:00	0:45:00
U18 (17-18歳)	1500m	0:05:30	0:06:15
	3000m	0:11:30	0:13:00
	5000m	0:20:00	0:22:30
U16 (-16歳)	1500m	0:05:45	0:06:30
	3000m	0:12:00	0:13:30
	5000m	0:20:50	0:23:20

※2024年4月1日以降の記録が有効

※正式な記録会のものでなくて良いが保護者・家族以外の立会人をおくこと

○選考方法

W/M20

(1) 2024年12月のアジアジュニア・ユース選手権大会スプリント種目・ミドル種目において優勝した選手で、かつ2025年8月もW/M20出場権がある場合は、代表選手として選考する。(最大2名)

(2) 全日本スプリント (2025年2月9日)

全日本スプリント競技 M/WE クラスの最上位者を1名選考する。最上位者が既に選考されている場合、繰り上げ選考を行わない。

(3) 選考会による選考

選考会 (2025年4月13日 富士山麓大会) で最上位者から2名選考する。最上位者が既に選考されている場合、繰り上げ選考を行わない。

(4) ポイントによる選考

(1) (2) (3) において選考された合計人数が6名に満たない場合、選考会 (2025年4月13日 富士山麓大会) の成績、参考レース (JWOC2025 選考方法と同じ) の成績、および、走力記録の合計ポイントに基づいて上位から選考する。

(1) (2) (3) 合わせて男女とも最大6名を選考する。すでに選考人数が6名を満たしている場合はポイントによる追加選考は行わない。

W/M18

(1) 2024年12月のアジアジュニア・ユース選手権大会 W/M18 スプリント種目・ミドル種目において優勝した選手で、かつ2025年8月もW/M18 出場権がある場合は、代表選手として選考する。(最大2名)

(2) 全日本スプリント (2025年2月9日)

全日本スプリント競技 M/WE クラスの最上位者を1名選考する。最上位者が既に選考されている場合、繰り上げ選考を行わない。

(3) 選考会による選考

選考会 (2025年4月13日 富士山麓大会) で最上位者から2名選考する。既に選考されている場合、繰り上げ選考を行わない。(選考会のクラスは別途指定する)

(4) 強化委員会の推薦

(1) (2) (3)において選考された合計人数が6名に満たない場合、強化委員会の推薦により代表選手を選考する。推薦の指標は下記の通りとする。

A) 強化選手

B) 走力記録の秀でている者

C) 選考会の成績、実績（中高選手権ミドル、全日本ミドル、全日本スプリント、AsJYOC2024 スプリント、AsJYOC2024 ミドル、インカレミドル、インカレスプリント、ジュニアチャンピオン）で、推薦選手を決定する。(1) (2) (3) 合わせて男女とも最大6名を選考する。

W/M16

(1) 2024年12月のアジアジュニア・ユース選手権大会 W/M16 スプリント種目・ミドル種目において優勝した選手で、かつ2025年8月もW/M16 出場権がある場合は、代表選手として選考する。(最大2名)

(2) 全日本スプリント (2025年2月9日)

全日本スプリント競技 M18/W18 クラスの最上位者を1名選考する。最上位者が既に選考されている場合、繰り上げ選考を行わない。

(3) 選考会による選考

選考会 (2025年4月13日 富士山麓大会) で最上位者から2名選考する。既に選考されている場合、繰り上げ選考を行わない。(選考会のクラスは別途指定する)

(4) 強化委員会の推薦

(1) (2) (3)において選考された合計人数が6名に満たない場合、強化委員会の推薦により代表選手を選考する。推薦の指標は下記の通りとする。

A) 強化選手

B) 走力記録の秀でている者

C) 選考会の成績、実績（中高選手権ミドル、全日本ミドル、全日本スプリント、AsJYOC2024 スプリント、AsJYOC2024 ミドル、ジュニアチャンピオン）で、推薦選手を決定する。(1) (2) (3) 合わせて男女とも最大6名を選考する。

W/M14

(1) 全日本スプリント (2025年2月9日)

全日本スプリント競技 M15/W15 クラスの最上位者を1名選考する。

(2) 選考会による選考

選考会 (2025年4月13日 富士山麓大会) で最上位者から2名選考する。既に選考されている場合、繰り上げ選考を行わない。(選考会のクラスは別途指定する)

(3) 強化委員会の推薦

(1) (2)において選考された合計人数が6名に満たない場合、強化委員会の推薦により代表選手を選考する。推薦の指標は下記の通りとする。

A) 強化選手

B) 走力記録の秀でている者

C)選考会の成績、今までの大会実績

4.6 代表選考に関する補足

各種国際大会の代表選考においては、選考会や参考レースの結果に加え、選手の実力を長期的に安定して評価できる日本ランキングを今後も活用していく方針である。日本代表を目指す選手には、日頃から日本ランキングで上位を目指すことを意識して取り組んでほしい。

さらに、世界レベルのレース経験を積むことは非常に重要であり、海外レースへの挑戦を推奨している。国内の大会に出場できない海外在住の選手も考慮し、世界ランキング順位、および、WRポイントについても引き続き代表選考に活用していく予定である。

5. 今後の具体的活動

5.1 フォレスト強化方針

フィジカル強化を重点方針とした WOC2023 では、ロングに出場した 4 選手が最後まで走り切ることができた。しかしながら、目標としていた 40 位には及ばず、更なるフィジカル強化が必要である。

WOC2025 に対しては、フィジカル強化の方針を継続するとともに、北欧テレインを高速で走るための技術面での強化も合わせて実施していく。

- ・JOA 合宿を計画的に開催する
- ・2023 年の時と同様に地域クラブ等のご協力を得て合同練習会を実施する。

5.2 スプリント強化方針

スプリント競技はますます高速化する傾向にあるため、2024 年強化方針と同様に走力重視を強化方針の柱とする。WOC で戦うためには標準 1 のタイムが必要レベルであり、あくまでも標準 1 のタイムを目指すこと。

標準 2 のタイムは、男子：標準 1×1.04、女子：標準 1×1.05 であったが、男子：標準 1×1.03、女子：標準 1×1.04 に変更した。

走力標準 (3000m、5000m のいずれかを満たすこと)

標準 1 標準 2

女子 3000m 11:00 11:26

5000m 19:00 19:45

男子 3000m 9:05 9:21

5000m 15:35 16:03

(2024 年 1 月 1 日以降。但し、大学 2 年以下のものは高校時代の記録でも可)

- ・合宿、練習会の開催も検討する。
- ・走力チェックのための記録会は各所で適宜実施・斡旋する。

5.3 ジュニア強化方針

JWOC や AsJYOC に対して、幅広い年齢層に技術面・走力面の両面から強化をしていく。特にジュニア世代では、より取り組みやすいスプリント強化のために、走力を重視することを継続していく。

- ・スプリント練習会の機会を検討する
- ・走力チェックのための記録会は各所で適宜実施・斡旋する

5.4 強化合宿(JOA 合宿)

例年と同様に、強化合宿、練習会を実施する。

- 1 参加資格 強化合宿への参加は、誰でも参加可能とするが、トレーニングの人員に制限がある場合や、目的が限定される場合などは、強化選手、代表選手および ADV 選手を優先することがある。また参加費は一般参加の場合、割り増しとなる。
- 2 開催予定（フォレストが中心であるが、早朝にスプリントを組み込むこともある。日程は変更される可能性あり）

11月23日(祝)～24日(日)	F合宿	静岡県
1月	記録会	未定
3月	記録会	未定
4月5日(土)～6日(日)	F合宿	静岡県(予定)
5月	記録会	未定
5月3日(土・祝)～5日(月・祝)	F合宿	静岡県(予定)
6月14日(土)～15日(日)	F合宿	未定
7月	記録会	未定

S 練習会は、随時頻繁に開催予定。

(S 練習会：スプリント練習会、F 合宿：フォレスト合宿、記録会：トラックでのタイムトライアル)

5.5 フォレスト、スプリント強化選手に対する活動

5.1 と 5.2 の方針に基づき、フォレスト、スプリント強化選手（+それに準ずるレベルの選手）の強化を目的として、2年前からの下記活動も継続する。活動内容については、本活動を進めていく中で具体化し、日程についても都度決めていくこととする。

- 1 ハイレベルな練習機会の提供（地域別、地域クラブ、大学との連携）
- 2 競技会終了直後のトレーニング（競技会主催者との連携）
- 3 オンライン MTG を活用した下記活動
 - ・ルートプランニング等の机上での技術向上活動
 - ・他国情報の共有
 - ・選手同士のトレーニング状況共有
 - ・スプリントの練習方法や関連知識・情報などの提供

なお、強化指定されていない選手がこの活動に参加を強く希望する場合は、アドバンスト選手登録の際、目標とする具体的な国際大会、その大会での目標、目標に到達するための長期・短期のトレーニング計画、現在の具体的なトレーニングの状況等を所定の申請フォームに詳しく記入すること。

(内容精査の上、参加可否を判断する)

登録方法は「アドバンスト選手登録要項」を参照のこと。

5.6 WOC2025 に向けた推奨イベント

WOC2025 を目指す選手および代表選手には、2024/9/25-29 WCup2024 Final（フィンランド）、2025/6 トレキャン&セレレース（フィンランド）、2025/7/1-3WOC 直前トレキャン（フィンランド）への参加を推奨する。

5.7 WOC2026 に向けた推奨イベント

WOC2026 を目指す選手および代表選手には、2025/3/25-30 トレキャン&レース（イタリア）、2025/9/29-10/5 トレキャン&PreWOC（イタリア）、2026/3 トレキャン（イタリア）、2026/5 トレキャン（イタリア）、および WCup を含むスプリント WRE への参加を推奨する。

5.8 強化指定と ADV 選手登録

フォレスト強化指定 2024年11月25日申請受付締切、12月中旬指定

（指定期間は WOC2025 終了まで。2024年10月時点、男女それぞれ3名が昨年から継続指定中）

スプリント強化指定 2024年11月25日申請受付締切、12月中旬指定
その後は随時申請受付、随時指定

(指定期間はWOC2026終了まで。WOC2024終了時点で指定期間が終了したため、2024年10月時点強化選手ゼロ)

U-20、U-18強化指定 2024年12月31日申請受付締切、1月上旬指定

(2025年1月からの新たな強化指定期間はAsJYOC2025終了まで。昨年度からの強化選手は2024年末まで継続指定中)

ADV選手登録 随時

6. 遠征経費と助成金の活用

遠征経費に関して、これまでWOC/JWOCの遠征を対象としてスポーツ振興基金助成金を申請してきたが、2025年についても助成金を申請予定である。ただし、遠征経費(参加費等)の一部しか補助することができず、また助成金も確約されたものではない。そこで、渡航費(航空券代)は代表選手、帯同オフィシャルとも自己負担、その他の経費(帯同オフィシャルのエントリー代・宿泊費も含む)は代表選手が負担することを基本とし、助成金を得ることができた場合には負担軽減を図る。また代表選手、帯同オフィシャルの負担が大きくなり過ぎる場合には、強化委員会が経費の一部を負担する。

7. 問い合わせの送付先

送付先: kyouka■orienteer.jp ■=@

題目: 「2025活動方針」

本文に、所属、氏名、連絡先(メール発信元への返信で良い場合は不要)を明記の上送付下さい。

8. 主要な国内・国際大会・イベント

2024/9/26-29	WCup2024 Round 4	フィンランド	SR, M, L
2024/10/19	全日本ミドル	岐阜県	M
2024/10/20	全日本ロング	岐阜県	L
2024/12/20-26	AsOC2024	タイ	S, M, R
2025/2/9	全日本スプリント	東京都	S
2025/3/25-30	WOC2026 トレ、レース	イタリア	S
2025/4/13	選考会(富士山麓大会 2025)	静岡県	F
2025/6 WOC2025	トレ、セレレース	フィンランド	F
2025/6/19-22	WCup2025 Round 1	スウェーデン	L, M, R
2025/6/28-7/4	JWOC2025	イタリア	SR, S, L, M, R

2025/7/1-3	WOC2025 トレキャンプ	フィンランド	F
2025/7/7-12	WOC2025	フィンランド	M, L, R
2025/8/6-11	TWG2025	中国	M, S, SR
2025/8/26-31	AsJYOC2025	愛知県	S, SR, M
2025/8/27-31	WCup2025 Round 2	ベルギー	SR, KS, S
2025/9/26-28	WCup2025 Round 3	スイス	S, KS, SR
2025/9/29-10/5	WOC2026 トレ、Pre WOC	イタリア	S
2026/3	WOC2026 トレキャンプ	イタリア	S
2026/5	WOC2026 トレキャンプ	イタリア	S
2026/7/6-11	WOC2026	イタリア	S, KS, SR

注記：

WOC：	フット0世界選手権大会
JWOC：	フット0ジュニア世界選手権大会
AsOC：	フット0アジア選手権大会
AsJYOC：	フット0アジアジュニア・ユース選手権大会
TWG：	フット0ワールドゲームズ(The World Games)
EOC：	フット0ヨーロッパ選手権大会
WCup：	フット0ワールドカップ
WUOC：	フット0世界大学選手権大会
WRE：	ワールドランキングイベント (WOC、WCup、AsOCを含む)
WRP：	ワールドランキングイベントにて選手に付加されるポイント
L：	ロングディスタンス
M：	ミドルディスタンス
R：	フォレストリレー
S：	スプリント
KS：	ノックアウトスプリント
SR：	スプリントリレー
F：	フォレスト

以上